

ショートバースト: 機械の大胆な使用

機械の大胆な使用とは、短時間の高出力使用のことである。

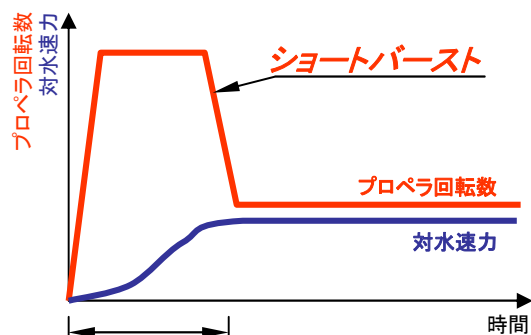
一般的なプレジャーボートでは、エンジンとプロペラシャフトは直結であるので、エンジン回転数とプロペラ回転数は同じと考えてよい。また一般的なディーゼルエンジンでは、アイドル回転数が600~800rpm、経済速度が1500~2500rpm、連続高出力運転が2800~3000rpm、短時間高出力運転が3300~3600rpm、としていだろう。(個体差は常にある)

さて、マリーナ内のような狭い水面での操船時、過度な速度は禁物である。

しかし、経験の少ない操船者は船の速度とプロペラの回転数を同一視してしまい、狭いところで回転数を上げることを躊躇してしまうため、状況にあわせた最小舵効速度をタイムリーに得ることができず、有効なコントロールを施せないうちに外力により圧流されてしまうことでトラブルに陥ってしまう。

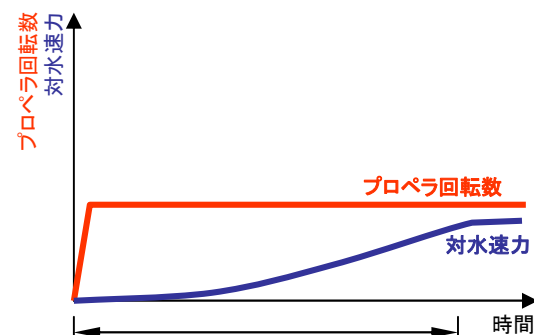
大きな速度が発生しないうちのプロペラの高回転出力(=「ショートバースト」=短時間スロットルを急激に上げる)は、船をたくみに動かしてくれる技術の一部である。

発進時に短時間高出力を使用した場合

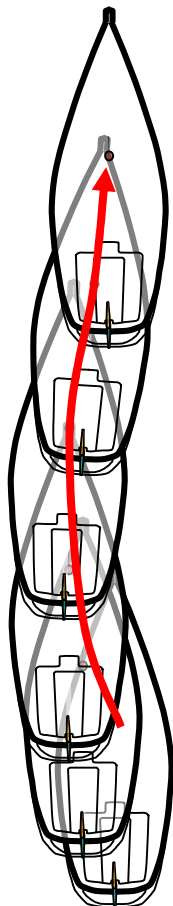


有効な対水速度を獲得する時間を短くできる

消極的な機械の使用の場合



有効な対水速度を獲得するまで長時間を必要とする。



有効な対水速度を獲得する段階の違いが操船のスマートさに反映される。
機械の大胆な使用とは、機械の「適切」な使用のことであり、ただ無意味に「ふかす」ことではない。

